令和７年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　善俊会

特別養護老人ホーム　ウィング

デイサービスセンター　ウィング

令和7年度 社会福祉法人 善俊会 事業報告書

１．施 設 名　　特別養護老人ホーム　ウィング
　　デイサービスセンター　ウィング

２．利用定員　　特別養護老人ホーム　　９０名
　　短期入所生活介護　　１０名
　　デイサービスセンター　　１８名

３．事業開始年月日　　平成２４年４月１日

４．施設の運営

「利用者一人ひとりの尊厳を守り、安心して心豊かに暮らせる支援」を基本理念とし、以下の方針に基づき施設運営を行ってまいりました。

（1）思いやりのある、優しいケアの実践

利用者の表情や言動から心のニーズを察し、全職員が思いやりのある対応を心がけました。日々のケアの中では、何気ない会話や触れ合いを通して信頼関係を築き、安心できる生活環境の提供に努めました。

（2）自立支援の取り組み

既存機能を活かす視点で、日常動作の見守りや段階的な支援を行い、利用者の「自分でできた」という体験を大切にしました。

（3）活動性と役割づくりの支援

日々のレクリエーションや行事だけでなく、施設内での「小さな役割」（洗濯物たたみや植物の水やりなど）を通じ、利用者が主体的に過ごせる時間を増やすよう取り組みました。これにより表情や発語の増加、生活意欲の向上が見られました。

（4）職員教育と職場環境の整備

施設内研修を計画的に実施し、特に事故防止、感染対策、接遇に関する研修を重点的に行いました。また、職員一人ひとりのキャリアパスを意識した個別面談や評価を行い、専門職としての意識向上と、仕事に誇りを持てる職場環境の整備に努めました。

（5）地域との連携強化

本年度は令和元年の新型コロナウィルス感染拡大後、久しぶりに地域住民参加型イベント「夏祭り」をご家族様をお呼びして実施いたしました。４３名のご家族様のご参加いただき、皆様笑顔で１日を過ごすことができました。感染症が流行する時期の行事（しめ縄作り等）については実施を見送りました。今後についても可能な限り地域連携に努めてまいります。

5. 職員定数 （令和８年３月３１日現在）

職種	常勤	非常勤	常勤換算	配置基準	職務内容
施設長 （管理者）	1		1	1	施設業務の統括・職員の指揮監督
医師 （嘱託医）		1		1	利用者の診察・健康管理
看護職員 （機能訓練指導員と兼務）	4 (1)	3 (1)	5.6	34	利用者への看護サービス
介護職員 （生活相談員と兼務）	44 (1)	4	45.2		利用者への日常的な介護サービス
介護支援専門員 （生活相談員と兼務）	2 (1)		1.5	1	施設サービス計画の作成・整備
生活相談員 （介護職員と兼務）	3 (2)		2	1	利用者の相談業務・入退所業務
管理栄養士	1		1	1	利用者の栄養指導
機能訓練指導員 （看護士と兼務）	1 (1)	1 (1)	1	1	利用者の機能回復・維持に必要な訓練・指導
事務職員	3				施設の庶務・会計・労務事務全般
労務職員	2	1			送迎設備管理・清掃

年度当初職員数　６７名

採用職員数　２０名（介護職員16名、看護職員2名、送迎職員1名、施設長1名）

退職職員数　１５名（介護職員10名、看護職員3名、送迎職員１名、施設長1名）

年度末職員数　７２名

離職率　２２．４％（離職率＝退職職員数÷年度当初職員数×１００）

6. 事業運営

要介護者一人ひとりの心身の状況に応じて、施設サービス計画に基づいた介護・相談援助・機能訓練・健康管理を行い、日常生活の自立支援に努めました。また、各職種間での連携と定期的なモニタリングにより、サービスの質の向上を図るとともに、感染症予防対策や衛生管理を徹底し、安全・安心な生活環境の維持に取り組みました。さらに、継続的な評価と改善を行い、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう支援しました。

7. 入所者へのサービス提供

（１）生活支援

ご利用者が施設で自然に、安心して生活できるよう、日常生活全般にわたる支援を行いました。基本的な支援の場面では、一人ひとりの意思と人権を尊重し、心身の状態や生活歴に配慮した個別的な対応に努めました。また、「寄り添うケア」を意識しながら信頼関係の構築を図り、日々の何気ない会話やふれあいの中から、その方の価値観や生活リズムを大切にした支援を継続しました。ご家族との連携や情報共有にも取り組み、安心感と満足感の向上に努めました。

（２）食事

ご利用者の嗜好を把握し、選択メニューや季節感のある献立、行事食などを取り入れることで、楽しみのある食事の提供に努めました。また、咀嚼・嚥下機能の状態や食欲の変化に応じて、適切な食形態を提供し、栄養面と安全面の両立を図りました。

今後もご利用者一人ひとりに「食べる喜び」を感じていただけるよう努めてまいります。

（３）入浴

ご利用者の心身の状態やADLに応じて、一般個浴・機械個浴・座位式機械浴・臥床式機械浴を適切に選定し、個別性を重視した入浴支援を行いました。体調不良時には清拭を実施し皮膚の清潔保持に努めるとともに、入浴を通じた精神的安定にも配慮しました。

また、入浴中の事故（体調急変・転倒・ヒートショック等）を最小限に抑えるため、事前のバイタルサイン確認・声かけ・見守り体制の強化に取り組みました。その上で、入浴状況や注意点の情報共有を密に行い、身体状態に応じた柔軟な介助を心がけ実施しました。

今後も「安心して楽しめる入浴」を目指し、安全性と快適性の両立を図るとともに、支援の質のさらなる向上に努めてまいります。

（４）排泄の支援

排泄は尊厳に関わる大切な行為であることを踏まえ、個々の排泄リズムに応じたトイレ誘導やケアを実施しました。また、定期的なアセスメントと職員間の情報共有により、排便コントロールやスキンケアへの対応を行い、便秘の改善や褥瘡予防にもつながりました。

今後もご利用者が安心して排泄できる環境づくりに努め、質の向上を図ってまいります。

（５）リハビリ

日常生活で自分でできる部分を積極的に行い、機能低下を防止しました。レクリエーションや散歩を通じて、機能維持・向上に努めました。また、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、中止していた外出行事を徐々に再開することができました。

（６）身体拘束の廃止に向けての取り組み

多職種による委員会を定期的に開催し、身体拘束の廃止に向けた取り組みを継続して行いました。転倒リスクのあるご利用者に対しては、センサーマットやクッション材の活用、ベッド位置の調整など、環境面の工夫を実施。また、夜間の不安行動に対しては、日中の活動量確保や声かけの工夫、眠前のルーティン支援などを通じて、安心感のある生活リズムづくりに努めました。

今後も、職員一人ひとりがご利用者の心身の状態を的確に捉えた対応を重ねることで、拘束に頼らない、自由で安全な生活の実現を目指してまいります。

（７）事故防止

職員が迅速かつ適切に事故対応できるよう、年2回の勉強会を開催し、全職員を対象とした継続的な教育を実施しました。リスクマネジメント委員会では、発生したアクシデントやヒヤリハット事例を共有・分析し、その教訓を職場全体で活かす体制を整えています。また、運営会議への報告を通じて安全対策の強化を図り、不測の事態の未然防止に努めています。

８．健康維持

ご利用者一人ひとりが健康で充実した生活を送れるよう、個別の健康管理を行いました。身体的・精神的な変化に応じて対応し、協力医療機関とも連携しました。

新型コロナウイルスについては、クラスター発生や重症化はありませんでした。

９．地域との連携

地域社会における福祉サービスの拠点として、地域住民の期待に応えられる施設運営を推進しました。後援会組織である羽生の丘友の会も移動研修を再開し、草刈りなどのボランティアもいただき、地域住民との交流を図りました。

また、大郷町の敬老会にも参加し、地域高齢者との交流を深めました。

「ウィング羽生アリーナ」については、貸し出しの中止期間なく運営し、町内の個人や団体には無料で利用していただきました。

１０．防災活動

ご利用者が安全に生活できるよう、緊急時対応策を整備し、防災訓練を実施しました。

＜避難訓練実施概要＞

① 令和７年　５月２８日 ： 避難訓練（日中想定）・消火訓練・通報訓練
櫻井防災の職員の方に協力していただき実施しました。
訓練参加人数　職員２０名

② 令和７年１１月２０日 ： 避難訓練（夜間想定）・消火訓練
黒川消防署大郷出張所と櫻井防災の職員の方に協力していただき実施しました。
訓練参加人数　職員１０名

１１．日課

趣味・教養・娯楽設備を整え、ご利用者が自ら希望・選択できる生活を支援しました。

起 床 洗 面	６：００頃より
朝　食	７：３０頃より
機能回復訓練	９：００頃より
入　浴 または 清　拭	１０：００頃より（週２回以上）
昼　食	１２：００頃より
回　診	１４：００～１７：００（週１回）
お や つ	１５：００頃より
夕　食	１７：３０頃より
就 寝 消 灯	２０：００頃より
排 泄 介 助	必要の都度随時

１２．各種会議等

【理事会】

第１回理事会　日 時 ：令和７年５月３０日（金）
場所等：特別養護老人ホームウィング　会議室
議 案 ：議案第１号　令和６年度事業報告並びに収支決算について
議案第２号　評議員選任候補者の推薦について
議案第３号　理事及び監事の選任について
議案第４号　定時評議員会の招集について
議案第５号　人事異動に伴う役職の任免について

第２回理事会　日 時 ：令和７年６月２０日（金）
場所等：特別養護老人ホームウィング　会議室
議 案 ：議案第１号　理事長の重任について
報 告 ：評議員会の審議結果について

第３回理事会　日 時 ：令和７年１０月１０日（金）
場所等：特別養護老人ホームウィング会議室
議 案 ：議案第１号　インフルエンザ予防接種について
議案第２号　令和７年度第一次補正予算（案）について
議案第３号　善俊会就業規則等規程の一部改正について
報 告 ：理事長の職務執行状況について

第４回理事会　日 時 ：令和８年３月２５日（水）
場所等：特別養護老人ホームウィング会議室
議 案 ：議案第１号　令和７年度第二次補正予算（案）について
議案第２号　令和８年度事業計画並びに収支予算（案）について
報 告 ：理事長の職務執行状況について

【評議員会】

定時評議員会　日 時 ：令和７年６月２０日（金）
場所等：特別養護老人ホームウィング会議室
議 案 ：議案第１号　理事及び監事の選任について
議案第２号　令和６年度計算書類及び財産目録について
報 告 ：評議員候補者の承認について
令和６年度事業報告について

【地域密着型通所介護事業所運営推進会議】

第１回デイサービスセンターウィング運営推進会議　令和７年１０月３０日（木）開催
第２回デイサービスセンターウィング運営推進会議　令和８年３月３０日（月）書面報告

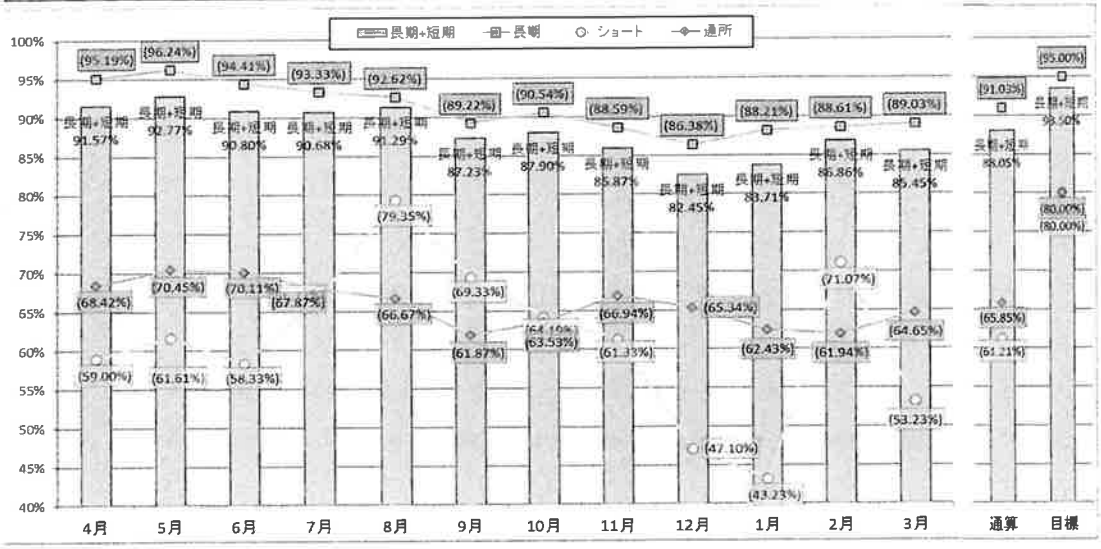
【各種委員会】

①	運営会議	毎月　第３水曜日開催
②	リーダー会議	毎月　第２水曜日開催
③	事故防止委員会	毎月　第３金曜日開催
④	褥瘡防止委員会	毎月　第１木曜日開催
⑤	感染対策委員会	毎月　第４木曜日開催
⑥	衛生委員会（運営会議内）	毎月　第３水曜日開催
⑦	身体拘束廃止委員会	毎月　第４月曜日開催
⑧	栄養管理委員会	毎月　第２火曜日開催
⑨	広報委員会	毎月　第３火曜日開催
⑩	サービス担当者会議	随　　時
⑪	入所判定会議	随　　時
⑫	リスクマネジメント委員会	奇数月　第３水曜日開催
⑬	生産性向上推進委員会	毎月　第２金曜日開催

１３．施設稼働実績

令和７年度　特別養護老人ホームウィング稼働率

	前年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通算	目標
長期入所 定員90名	82.84名 (92.04%)	85.67名 (95.19%)	86.61名 (96.24%)	84.97名 (94.41%)	84.00名 (93.33%)	83.35名 (92.62%)	80.30名 (89.22%)	81.48名 (90.54%)	79.73名 (88.59%)	77.74名 (86.38%)	79.39名 (88.21%)	79.75名 (88.61%)	80.13名 (89.03%)	81.93名 (91.03%)	85.50名 (95.00%)
短期 定員10名	6.49名 (64.95%)	5.90名 (59.00%)	6.16名 (61.61%)	5.83名 (58.33%)	6.68名 (66.77%)	7.94名 (79.35%)	6.93名 (69.33%)	6.42名 (64.19%)	6.13名 (61.33%)	4.71名 (47.10%)	4.32名 (43.23%)	7.11名 (71.07%)	5.32名 (53.23%)	6.12名 (61.21%)	8.00名 (80.00%)
通所 定員18名	10.82名 (60.09%)	12.32名 (68.42%)	12.68名 (70.45%)	12.62名 (70.11%)	12.22名 (67.87%)	12.00名 (66.67%)	11.14名 (61.87%)	11.43名 (63.53%)	12.05名 (66.94%)	11.76名 (65.34%)	11.24名 (62.43%)	11.15名 (61.94%)	11.64名 (64.65%)	11.85名 (65.85%)	14.40名 (80.00%)
長期+短期	89.33%	91.57%	92.77%	90.80%	90.68%	91.29%	87.23%	87.90%	85.87%	82.45%	83.71%	86.86%	85.45%	88.05%	93.50%



長期入所…稼働率は前年比で－１．０９％となり、目標を３．９７％下回りました。

令和７年度の新規入所者は２７名、退所者は２４名でした。退所者２４名の内訳は、

他施設への入所が１９名、死亡が４名、自宅が１名でした。

短期入所…稼働率は前年比で－３．７４％となり、目標を１８．７９％下回りました。
令和７年度の新規利用者は２６名（前年比＋２名）、利用終了者は１４名でした。
利用終了１４名のうち、長期入所へ移行された方が１１名、死亡により利用を終了された方が３名でした。

通所介護…稼働率は前年比で+５．７６％となり、目標を１４．１５％下回りました。
令和７年度の新規利用者は８名（前年比－７名）、利用終了者は１３名でした。
利用終了１３名のうち、長期入所へ移行された方が９名、ご逝去による終了が３名、自己都合にて利用終了となったのが１名でした。

１４．年間行事

夏祭り　令和７年８月２日に、ご家族様をお呼びして大体的に開催しました。
デイサービスセンターでは、８月２０日と２１日に実施しました。

敬老会　令和７年９月１０に、各エリアごとに実施しました（全5エリア）。
デイサービスセンターでは、９月１５日に実施しました。

新年会　令和８年１月１５日に、各エリアでそれぞれ実施しました。
デイサービスセンターでは、令和８年１月１５日に実施しました。

１５．介護予防・日常生活支援総合事業

ウィング附属施設「ウィング羽生アリーナ」利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	上半期
利用件数	11	16	12	9	1	6	55
利用者数	67	169	72	63	6	79	456

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	下半期	年間
利用件数	7	6	8	17	12	13	63	118
利用者数	83	34	86	225	150	105	683	1,139

（　前年度利用件数…１２０件、前年度利用者数…９９４人　）

１６．職員の確保

介護職員の慢性的な不足を緩和するために求人活動を実施しましたが、希望人数には達しませんでした。

定着支援の一環として、定期面談・フォロー研修・eラーニングなどを実施しました。無資格の職員３名に対して知識や技術の向上を図るべく、認知症介護基礎研修を実施しました。

１７．改修工事の実施

大きな改修はなし

１８．その他

職員の資質向上のため、施設内職員勉強会を実施しました。

① 令和７年４月　　栄養管理について
② 令和７年５月　　褥瘡対策について
③ 令和７年６月　　感染症対策について
④ 令和７年７月　　事故防止について
⑤ 令和７年９月　　介護の質とは（身体拘束・虐待防止）
⑥ 令和７年１０月　　高齢者介護施設における感染対策
⑦ 令和７年１１月　　ターミナルケアについて
⑧ 令和７年１２月　　これって身体拘束ですか？
⑨ 令和８年２月　　事故防止もしも「窒息」してしまったら）
⑩ 令和８年３月　　リスク管理について

事業報告の附属明細書

令和７年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成しない。

社会福祉法人　善俊会